

日本 ASEAN 友好協力 50 周年記念認定事業
「JENESYS U-17 Women's Football Memorial Cup」の記録
(招へい)

1. プログラム概要

【目的】本事業は、ASEAN 各国で今後の活躍が期待される U-17^(注) 女子サッカー選手を招へいし、日本チームを含む全 12 チームによる練習や親善試合「JENESYS U-17 Women's Football Memorial Cup」、交流会を通じて、各国選手間の相互理解と友好促進を目的に実施しました。

ASEAN 各国の青年は、サッカー交流の他、日本文化や沖縄文化を体験し、日本の印象やプログラムで得た学びについて SNS 等を通じて母国に紹介しました。

なお、このプログラムの実施により、ASEAN 諸国及び東ティモールにおいて、「FIFA 女子ワールドカップ オーストラリア&ニュージーランド 2023」(2023 年 7 月開催、なでしこジャパン出場)及び、日本人女子サッカーチームへの関心やその活躍への注目が高まることが期待されます。また、日本 ASEAN 友好協力 50 周年を契機とし、両国・地域間における友好交流の更なる発展が期待されます。

* 17 歳以下の選手で構成されたチーム

【参加者】ASEAN 諸国及び東ティモールの女子 U-17 サッカー選手及び役員等 計 213 名

(内訳) ASEAN 諸国及び東ティモールの女子 U-17 サッカー選手 163 名 役員等引率者 50 名

(参考 1) 国別内訳：インドネシア(19)、カンボジア(22)、シンガポール(22)、タイ(22)、フィリピン(22)、ベトナム(21)、マレーシア(22)、ミャンマー(22)、ラオス(20)、東ティモール(21)

(参考 2) クラブチームの参加：カンボジア、インドネシア、ラオスは、クラブチームが参加 【訪問地】東京都、沖縄県

2. 日程

日にち	内容
事前学習 (オンライン)	
3 月 7 日 (火曜日)	<p>【オリエンテーション】</p> <p>【日 ASEAN 友好協力 50 周年基調ウェビナー】</p> <p>1. 「日 ASEAN 友好協力 50 周年とスポーツ交流」</p> <p>2. 「日本女子サッカーのこれまでの歩みとこれからの可能性」</p> <p style="padding-left: 2em;">講師：なでしこジャパンコーチ 宮本 ともみ氏^(注)</p> <p>発言 (抜粋)：日本は 3 カテゴリーのワールドカップすべてで優勝している最初で唯一の国ですが、男子と比べると競技人口は少ないです。サッカーが女性の身近なスポーツになるよう、さまざまな側面から女子サッカーの普及、選手の育成・強化、女性指導者の養成に力を入れています。2021 年 9 月、日本初の女子プロサッカーリーグ「WE リーグ」が開幕しましたので、これからますます女子サッカーを盛り上げていきたいです。</p> <p>(注) プロフィール：1997 年～2007 年日本女子代表選手として活躍。2013 年から指導者として様々</p>

	なチームに関与。2021年からは、なでしこジャパン(日本女子代表) コーチとして選手の育成・指導に従事。
来日プログラム	
1日目 3月15日(水曜日)	羽田空港または成田国際空港より入国 東京都から沖縄県へ移動
2日目 3月16日(木曜日)	【オリエンテーション】 歓迎ビデオメッセージ： 植木理子 選手(日テレ・東京ヴェルディベレーザ所属) 宝田沙織 選手(スウェーデン・リンシェーピングFC所属) Phonphirun Philawan タイ人選手(マイナビ仙台レディース所属) 【チーム別練習】(於：うるま市具志川多種目球技場)
3日目 3月17日(金曜日)	【スポーツ交流】 サッカー親善試合(リーグ戦) ～21日迄(於：うるま市具志川多種目球技場) 【ベトナム 対 マレーシア】3-0 【インドネシア 対 カンボジア】0-2 【日本女子代表(U-16) 対 ミャンマー】4-0 【タイ 対 東ティモール】13-0 【文化体験】 紅型(恩能村ふれあい体験学習センター) 【視察】 万座毛(ラオス・フィリピン・シンガポール)
4日目 3月18日(土曜日)	【ベトナム 対 日本(沖縄うるま市選抜)】10-0 【インドネシア 対 シンガポール】0-5 【日本(U-16) 対 フィリピン】12-0 【タイ 対 ラオス】9-0 【文化体験】 紅型(恩能村ふれあい体験学習センター) 【視察】 万座毛(カンボジア・マレーシア・ミャンマー・東ティモール)
5日目 3月19日(日曜日)	【マレーシア 対 日本(沖縄うるま市選抜)】1-2 【カンボジア 対 シンガポール】0-2 【ミャンマー 対 フィリピン】3-1 【東ティモール 対 ラオス】1-4 【文化体験】 紅型(恩能村ふれあい体験学習センター) 【視察】 万座毛(インドネシア・タイ・ベトナム)
6日目 3月20日(月曜日)	【マレーシア 対 インドネシア】0-1 【フィリピン 対 東ティモール】9-0 【日本(沖縄うるま市選抜) 対 カンボジア】3-2 【ミャンマー 対 ラオス】4-0 【ベトナム 対 シンガポール】4-0 【日本女子代表(U-16) 対 タイ】(準決勝)5-0

<p>7 日目 3 月 21 日（火曜日） （祝日）</p>	<p>【マレーシア 対 東ティモール】4-0 【インドネシア 対 フィリピン】3-5 【カンボジア 対 ラオス】2-0 【日本（沖縄県うるま市選抜） 対 ミャンマー】1-10 【シンガポール 対 タイ】（三位決定戦）0-4 【ベトナム 対 日本（U-16）】（決勝）0-12 【スポーツ交流】リフティングゲーム等 講師：元なでしこジャパン（日本女子代表）澤穂希氏、宮間あや氏 【表彰式】挨拶 うるま市長 中村正人氏 外務省沖縄担当大使 宮川学氏 【報告会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加各国代表による成果発表 ・FIFA 女子ワールドカップ ドイツ 2011（日本代表チーム優勝試合）の動画視聴 ・講評：元日本女子代表チームキャプテン 澤穂希氏 元日本女子代表メンバー 宮間あや氏 ASEAN 事務局：Nasya Nabila Nursabrina 氏 ・国別パフォーマンス披露、沖縄伝統芸能エイサー
<p>8 日目 3 月 22 日（水曜日）</p>	<p>沖縄県から東京都へ移動</p>
<p>9 日目 3 月 23 日（木曜日）</p>	<p>【文化視察】浅草寺、仲見世通り（カンボジア、ラオス、ミャンマー、フィリピン、タイ、ベトナム、東ティモール） 明治神宮、原宿（インドネシア、マレーシア、シンガポール）</p>
<p>10 日目 3 月 24 日（金曜日）</p>	<p>【講義】「WE リーグとの取り組みについて」 講師：株式会社ビーズインターナショナル（ストリート・アパレル・ブランド）コンテンツチャンネル開発本部 WE リーグ事業部 シニアマネージャー代理 富田裕也氏 ご発言（抜粋）：弊社が所有するブランド X-girl は WE リーグのシルバーパートナー兼オフィシャルサプライヤーとして、ユニフォームやトレーニングウェアの開発、X-girl のフィルターを通して様々なマーケティングを行っています。実際に 2022-23 シーズンには 6 つのクラブにユニフォームを提供しました。アパレルメーカーならではの、今までにないストリートファッションと融合したデザインが特徴的で、素材や女性に合わせたシルエットにもこだわりがあります。また女子サッカー界の発展の先にある、女性の社会進出や地位向上を視野にいれた活動を行っています。いつか参加者のみなさんが X-girl のユニフォームを着て、ご活躍される</p>

	ことを願っています。 【視察】キリンチャレンジカップ 2023（日本代表 対 ウルグアイ代表） （於：国立競技場）
11 日目 3 月 25 日（土曜日）	羽田空港または成田国際空港より出国

3. 親善試合「JENESYS U-17 Women's Football Memorial Cup~」リーグ戦結果

順位	グループ ①	グループ ②
1	U-17 ベトナム女子代表	U-17 シンガポール女子代表
2	沖縄県うるま市選抜 U-17	U-17 カンボジア女子代表
3	U-17 マレーシア女子代表	U-17 インドネシア女子代表
順位	グループ ③	グループ ④
1	U-16 日本女子代表	U-17 タイ女子代表
2	U-17 ミャンマー女子代表	U-17 ラオス女子代表
3	U-17 フィリピン女子代表	U-17 東ティモール女子代表

4. プログラム記録写真

事前学習

	3 月 7 日 オリエンテーション 記念撮影
---	---------------------------

来日プログラム（訪問地：東京都、沖縄県）

	
3 月 16 日 オリエンテーション	3 月 16 日 チーム別練習（ベトナム）
	
3 月 17 日 サッカー親善試合 （日本 U-16 vs ミャンマー）	3 月 17 日 日本文化体験 紅型 （マレーシア）



3月18日 サッカー親善試合
(フィリピン vs 日本 (沖縄選抜))



3月18日 視察 万座毛 (東ティモール)



3月19日 日本文化体験 紅型 (タイ)



3月20日 サッカー親善試合
(ベトナム vs シンガポール)



3月21日 試合観戦中の交流



3月21日 スポーツ交流



3月21日 親善試合終了後の記念撮影
(参考) 日本 ASEAN 友好協力 50 周年記念認定事業「JENESYS U-17 Women's Football Memorial Cup」
URL: https://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/rp/page24_002161.html



3月21日 表彰式



3月21日 報告会 成果発表

	
<p>3月21日 FIFA女子ワールドカップ ドイツ2011の日本代表映像を視聴</p>	<p>3月21日 来賓からの講評</p>
	
<p>3月21日 交流会 各国パフォーマンス披露</p>	<p>3月21日 文化視察 エイサー</p>
	
<p>3月23日 講義・質疑応答 「WEリーグとの取り組みについて」</p>	<p>3月24日 視察 浅草寺、仲見世通り (カンボジア)</p>

5. メディア等による報道

 <p>日本×ASEAN サッカーで言葉と文化の壁を越えた絆を育む</p> <p>3/23(木) 17:11 配信 琉球朝日放送 QAB NEWS</p> <p>うるま市 日本ASEAN 友好協力50年</p> <p>U-17女子選手 約220人集結</p> <p>野球の熱気が世界的に高まりを見せるなか、沖縄では「サッカー」を通じて異文化への理解を深める海外交流で盛り上がりました。</p>	 <p>沖縄タイムス 会員登録 電子版</p> <p>うるま市選抜ーベトナム 後半、ベトナム（赤）の守備陣に激しくプレスをかける、うるま市選抜（白）の選手ーうるま市具志川多摩田球技場（真井洋輔撮影）</p> <p>ASEAN友好 うるま市で大会 U-17女子サッカー</p>
<p>3月23日 琉球朝日放送（ウェブ版）</p>	<p>3月21日 沖縄タイムス</p>

	
3月21日 現地紙VOV 電子版(ベトナム)	3月22日フィリピンサッカー協会ホームページ

6. 参加者の感想(抜粋)

◆ カンボジア 選手

私は日本に来ることができてとても嬉しいです。このプログラムでのサッカーの交流試合など、私たちのような若い世代にとってとても良い内容だと思いました。私は日本で良い経験や良い考えを得ることができました。日本の文化についても知ることができ、また、他国の方たちとも友達になれました。プログラムに参加する機会を与えてくださり、ありがとうございました。

◆ インドネシア 選手

プログラム参加を通じて時間厳守の原則、美化の習慣の大切さを学ぶことができました。

◆ ラオス 選手

ホテルの近くの海がとても綺麗でした。私はこの景色が大好きになり、見に行くたびに写真を撮りました。日本の人達が暖かく歓迎して下さり、日本を実際に見て、感じる事ができて嬉しかったです。紅型染め体験では、描き間違えたときは丁寧に優しく教えてくれました。また、今回サッカーを通じて様々な経験をしました。プログラムでは、同年代の海外のお友達ができました。お互いを知り、話し、一緒に笑い、幸せな時間を一緒に過ごせました。またいつか日本を訪れたいです。Love Japan、Love JENESYS。

◆ マレーシア 選手

私が最も印象に残っているのは、日本の女子サッカー選手はとても才能があるということです。他の女子サッカー選手も上手でした。また日本には興味深くてきれいな場所がたくさんあり、文化もまた興味深かったです。人々はとてもフレンドリーで、親切で、礼儀正しく、陽気です。私が最も気に入ったのは食べ物で、とても美味しくバラエティに富んでいます。しかしながら、日本では経済、発展、人々のすべてが規律正しく動いています。宿泊した施設はきれいで食べ物も美味しかったです。

◆ ミャンマー 役員

今回、JENESYSのプログラムに参加することができ感謝しています。U-16日本女子代表とは同じグループで、技術や戦術を学ぶことができ、とても勉強になりました。また、ASEAN諸国のチームと試合を重ね、大会を通して自分たちの課題や改善点を見つけられました。このプログラムを通して各国の選手と交流ができ、また友達を作ることができてとても良い経験になりました。

◆ **フィリピン 役員**

私が印象に残っていることは、サッカーの親善試合と文化です。親善試合では、選手一人ひとりがスキルを向上させるとともに、国際的な試合に対する自信を得ることができました。また、日本の文化や慣習が、時間を守ること、責任感や規律を守ることに大きな影響を与えていることもわかりました。

◆ **ベトナム 役員**

自分にとっては紅型染め体験でのトートバッグへの絵付けが素晴らしい経験でした。リラックスでき、創造力がアップしました。交流会の各国パフォーマンスは本当に素晴らしかったです。

◆ **タイ 選手**

東京や沖縄で訪れた場所であらゆることに感銘を受けました。日本が本当に好きになりました。

◆ **ベトナム 選手**

日本人は礼儀正しく、物事を進める際に些細なことにも万全の準備をしていました。

◆ **東ティモール 選手**

プログラムを通じて、日本人のホスピタリティや優しさを様々なところで感じました。プログラム中は、栄養満点の食事と十分な休憩時間が用意され、良いコンディションで試合に臨むためには、健康な食生活と休養に気を配らなくてはいけないことを改めて気付かされました。日本の選手とも交流できたことを嬉しく思っています。アジアサッカー連盟（AFC: Asian Football Confederation）や他の国際大会と異なり、JENESYS では参加各国の選手とも交流でき、たくさん友達を作ることができました。負けた時は悔しかったですが、ピッチの外では、お互い言葉は分からずとも、何とかコミュニケーションを取りたい気持ちで、ジェスチャーを交え一緒に楽しい思い出を作ることができました。インスタグラムや Facebook のアカウントを交換したので、帰国してからもこの友情を育んでいきたいと思えます。交流の橋渡しをしてくれた関係者の方々に感謝を申し上げます。

7. **受入れ側の感想（抜粋）**

◆ **講師**

WE リーグの理念やクレド（行動規範）等、若い選手には難しい内容もありましたが、X-girl の取り組みについて動画や画像を多く用意したので、楽しんで受講頂けた印象です。各国の若いアスリートの生の声を聴けたので大変貴重な機会になりました。

◆ **日本 選手**

今大会を通して、多くのことを経験することができました。今までに見たことの無いくらい体のぶつかり合い、ポジションの争い、身体能力、筋力の差などあらゆる場面で、あらゆるプレーに驚かされました。また、試合の時間や最終日の夜の部の交流会で海外の選手と話す機会がありましたが、言葉の壁がありつつも、ジェスチャーや表情、簡単な英単語で意思疎通ができて、もの凄く嬉しかったです。各国のパフォーマンス披露では、アセアンのみんなは一緒に踊ったりして盛り上がり、文化の違いを感じました。全試合を見ることができ、また最終日の交流会にも関わることができ、この6日間の大会は、とても大変でしたが自分自身にとっても、チームにとっても大きな経験を得ることができた充実した機会となりました。今後のコザ高校のサッカーチームにこの経験を生かしていきます。

8. 参加者の対外発信（抜粋）

	
<p>2023年3月17日（Instagram）フィリピン 沖縄で開催されている「~JENESYS U-17 Women's Football Memorial Cup~」に出場しているフィリピンU17チームの出番です。チームの様子は、フィリピンサッカー連盟（PFF：The Philippine Football Federation:）とサッカー女子フィリピン代表（PWNT：Philippine Women's National Football Team:）の SNS ページで随時更新していきます。</p>	<p>2023年3月23日（Facebook）カンボジア 2023年3月23日の午後、カンボジア女子代表チームは講義に参加しました。講義では、日本の女子サッカーリーグのチームに公式サプライヤーから提供されるユニフォームについて学びました。</p>
	
<p>2023年3月26日（Instagram）インドネシア 日本での経験を皆と共有したいです。日本にいた間に色々な経験をしました。ASEANの国々のチームとの対戦までに相手に対する態度をどのように維持するのかなど、反省する点も多かったけど多くの学びがありました。</p>	<p>2023年3月31日（Facebook）ベトナム 青く澄んだ海がある日本の美しい島、沖縄に上陸しました。ただ、ここに来たのは海を堪能するためではなく、日本とASEAN諸国間のスポーツ・文化交流事業「JENESYSプログラム」に参加するためです。ASEAN9か国及び東ティモールの女子代表チームとうるま市選抜U-17女子代表チーム、U-16日本女子代表チームが参加した大会は大変盛り上がりしました。知見の広がりやたくさんの学びは今後の試合に向ける貴重な財産です。</p>

9. 報告会でプログラムでの学びと帰国後の活動目標の発表（抜粋）

インドネシア
<p>1. このプログラムに参加して気づいたことや発見したことは何ですか：日本の沖縄で紅型などクリエイティブで革新的な沖縄の文化に触れることができました。万座毛の断崖の美しい景色や日本食を楽しみました。レストランでは、特に海苔が凄く美味しかったです。その他、日本やASEANの国々の選手と試合をできたことも印象に残っています。</p> <p>2. その気づきや発見を、帰国後、どのように他の人と共有しますか：身の回りを清潔に保つ、規律正しく、時間を守るということが大事であると沖縄のプログラムを通じて学びました。帰国後、日本での体験や学びは、まず家族など自分の周りに伝えて実践したいです。</p> <p>3. その気づきや発見を今後の人生でどのように活かしていきたいと思いませんか：身の回りを清潔に保つ、規律正しく、時間を守るなど日常生活で活かしていきたいです。</p>
カンボジア
<p>1. このプログラムに参加して気づいたことや発見したことは何ですか：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の人々は他の国の人々と良好な関係を築いていること。 ・日本の人々は物静かでおとなしく、礼儀正しいこと。 ・日本は自然が豊かで、人々は美しい環境の中で暮らしていること。 <p>2. その気づきや発見を、国へ帰ってから、どのように他の人と共有しますか：知り合い、友人、家族や日本に来れなかった他の選手たちに Facebook や Instagram などの SNS を活用して伝えていきたいです。</p> <p>3. その気づきや発見を今後の人生でどのように活かしていきたいと思いませんか：サッカー選手として、一生懸命にサッカーの練習をするだけでなく、日本やASEAN各国の人々の友好関係を維持すると同時に、日本政府や大使館による様々なプログラムに参加することによって、日本の文化・伝統や日本の女子サッカーについての理解をより深めていきたいです。</p>
シンガポール
<p>日本ではきちんとしたリサイクルシステムがあり、私たちの国も学ぶべきだと思います。私も U-17 シンガポール女子代表に戻ったら、ごみを決められたところに捨てようと思います。また、もっと自主性を持ち、時間厳守を徹底しようと思いました。スケジュールに沿って行動することは将来のために大事なことであり、自分のためにもなります。</p>
タイ
<p>1. このプログラムに参加して気づいたことや発見したこと。</p> <p>日本の言葉を覚えたことや、このプログラムには様々な国から参加していること。</p> <p>2. その気づきや発見を、帰国後、どのように他の人と共するか。</p> <p>この国の文化について学んだことや、紅型染めで初めて見るようなきれいな模様を鮮やかな色を塗ることができた体験を、友人や家族に伝えていきたい。</p> <p>3. その気づきや発見を今後の人生でどのように活かしていきたいと思うか。</p> <p>他の人との共同生活における規律に関して、時間を守ったり清潔さを保ったりすることなどを日々の生活やいろいろな場面で活かしていきたいです。</p>
フィリピン

<p>1. このプログラムに参加して気づいたことや発見したこと。 基本的な各国の挨拶（コンニチハ、サイバイディー、シンチャオ、サナトディー、ハロー、ミンガラバ）、新しい友達の作り方、日本の清潔さ、フレンドリーな歓迎</p> <p>2. その気づきや発見を、国へ帰ってから、どのように他の人と共有するか。 ソーシャルメディアで共有します。日本が他の国とどう違うか、家族や友人に伝えます。</p> <p>3. その気づきや発見を今後の人生でどのように活かしていきたいと思うか。 常に時間通りに行動します。私たちの文化を大切にします。環境を大切にします</p>
マレーシア
<p>1. このプログラムに参加して気づいたことや発見したこと。 私達はこのプログラムを通して様々なことを学びました。特に、日本人の時間に対する規律の正しさ、親切さを学びました。そして、ASEAN の他の国の選手たちはサッカーが強く良い選手だということを知りました。</p> <p>2. その気づきや発見を、帰国後、どのように他の人と共有するか。 帰国後、インスタグラムなどのソーシャルメディアを使って日本で学んだことや、日本の美しさを伝え、それを読んだ人たちが日本に来て私と同じ感動を経験してもらいたいです。</p> <p>3. その気づきや発見を今後の人生でどのように活かしていきたいと思うか。 日本では様々な発見をし、例えば、日本人はみんな勤勉で、特に高齢の方がホテルでスタッフとして活躍されていて、「すごい」と思いました。また、グラウンド場外では一般の人々がジョギングするのを見て、日本人は食べるものも含めて健康的だと思いました。これらの学びを活かして自分の将来に役立てたいと思います。</p>
ミャンマー
<p>1. このプログラムに参加して気づいたことや発見したこと。 日本人は大変親切で、誰に対しても寛大な心で接していることです。</p> <p>2. その気づきや発見を、帰国後、どのように他の人と共有するか。 帰国後、私は、気づいたことや発見したことについて家族や友人に共有し、日本は平和であることを Facebook を通じて発信します。</p> <p>3. その気づきや発見を今後の人生でどのように活かしていきたいと思うか。 これから私は日本人のように寛大な心で相手に接していきます。時間を大切に、自然環境を保護します。規則正しく生きていきます。</p>
ラオス
<p>1. このプログラムに参加して気づいたことや発見したことは何ですか：日本に着いたときから日本の最新設備が見られてワクワク感と緊張がしました。沖縄の海はとても綺麗で、どこに行っても日本人の方は素晴らしい接客態度で観光客をもてなしていて、天気も良く美しいところでした。</p> <p>2. その気づきや発見を、帰国後、どのように他の人と共有しますか：対外発信として、今回の JENESYS プログラムで見たもの、体験したことを毎日 Facebook ですでに写真をアップしています。帰国後、次世代に希望を伝えるため、そして自分の兄弟、姉妹、友達にこの JENESYS プログラムから得た経験を話して共有したいと思います。</p> <p>3. その気づきや発見を今後の人生でどのように活かしていきたいと思いますか：ゴミの捨て方の大切</p>

<p>さを実感しましたので、ラオスに帰ったら日本のように環境を守る活動を頑張りたいと思います。</p>
<p>ベトナム</p>
<p>1. このプログラムに参加して気づいたことや発見したこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本はきれいな国です。 ・ 日本人は親しみやすくやさしいです。 ・ 素敵な風景がたくさんあります。 ・ きれいなビーチのある素敵なホテルに泊まることができて快適でした。 ・ サッカー交流試合を通じて、同年代のASEANの友達ができました。 ・ 日本人と交流することもできました。 ・ 日本でごみ分別し、その大切さについて学びました。 ・ 日本人は礼儀正しく、丁寧に接してくれました。 <p>2. その気づきや発見を、帰国後、どのように他の人と共有するか。</p> <p>このプログラムで得られた経験、例えば、挨拶の仕方、ごみの分別方法、食事の作法、時間厳守などを友達に伝えます。日本人のように、助けが必要とする人に手を差し伸べる習慣を身につけます。</p> <p>3. その気づきや発見を今後の人生でどのように活かしていきたいと思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本での経験は帰国を待たずにすぐ実践したいです。 例：時間厳守、挨拶、ごみの分別及び規則正しい食生活を既にしています。 ・ 日本で学んだことをまず自分が実行し、それから多くの人に広めたいと思います。
<p>東ティモール</p>
<p>1. このプログラムに参加して気づいたことや発見したこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本そして沖縄の人々の優しさ・ホスピタリティ（JICEスタッフ・ホテルのスタッフ、JFAと地元の高校生のボランティア） ・ 日本・琉球文化に関する知識・体験（成田山・紅型） ・ 海洋環境の大切さ（葛西臨海公園・万座毛） ・ 良いコンディションで試合に臨むための健全な食生活 ・ 友情（東ティモールと日本・沖縄、ASEAN諸国） <p>2. その気づきや発見を、帰国後、どのように他の人と共有するか。</p> <p>このプログラムで得られた経験をFacebook、Instagram、WhatsApp等のソーシャルメディアを通じてシェアします。他の選手に、今よりもっとたくさん、もっと熱心に練習を積むよう伝えます。</p> <p>3. その気づきや発見を今後の人生でどのように活かしていきたいと思うか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規律正しく生活を送る：（例）環境を守る（ゴミを持ち帰る）、自分自身と周りの人の健康に配慮する（マスクの着用、手を洗う） ・ 責任感を持つ：（例）自分の身のまわりのものに注意を払い、大切に使う（バッグ、靴、水のボトルなど）、食生活に気をつけて、練習に励む

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）

協力団体：公益財団法人日本サッカー協会（JFA）

協力ボランティア：沖縄県立コザ高等学校、沖縄県立知念高等学校女子サッカー部